

参考-2 欧米諸国の交通事故発生状況

国際道路交通事故データベース（IRTAD）がデータを有する30か国について、人口10万人当たりの死者数を比較すると、我が国は4.5人（2010年）であり、第8位に位置している（第1図）。

1 概況

主な欧米諸国（アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス）の交通事故死者の推移をみると、ドイツ、イギリス及びフランスは、ドイツの統一前後の一時的増加を除き、おおむね減少傾向にある。アメリカは、増加傾向が続いていたが、2006年より減少に転じている（第2図）。

2 自動車の普及及び道路の延長状況

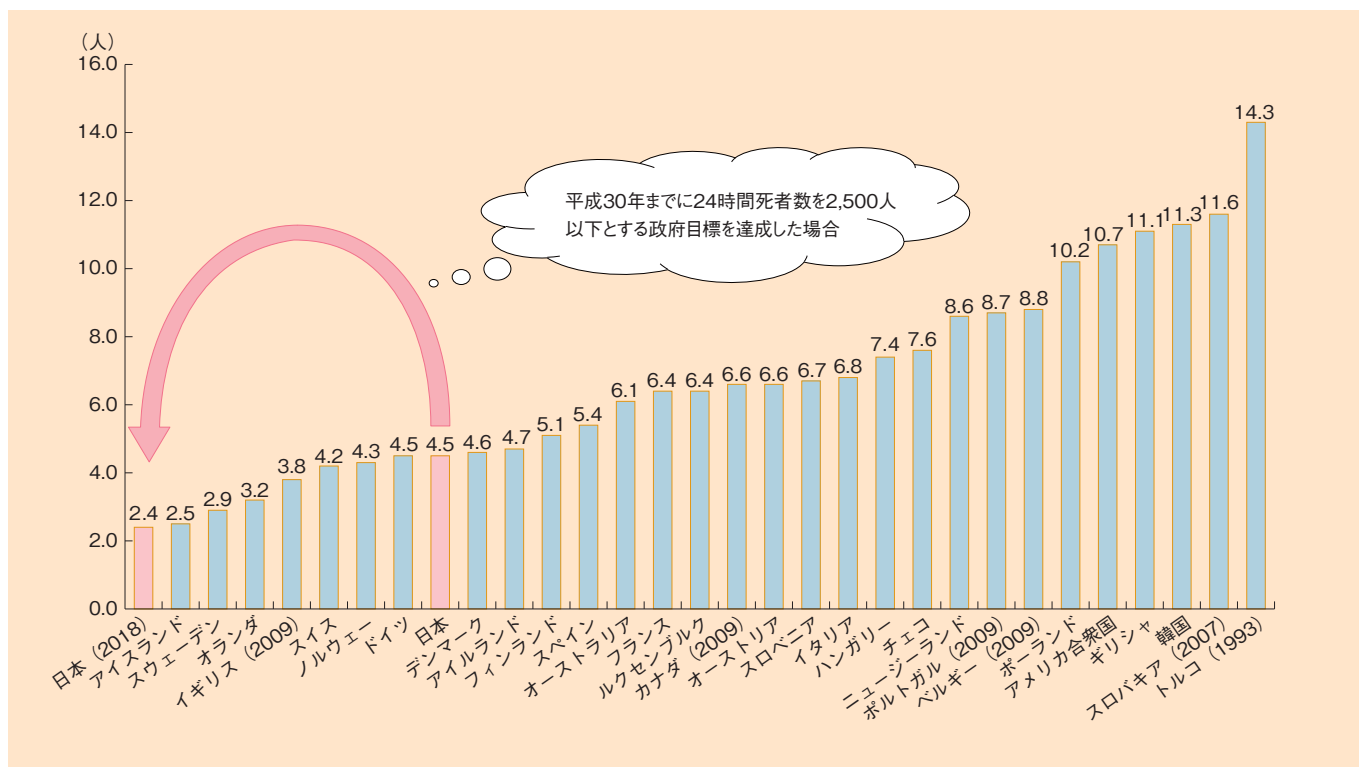
我が国と欧米諸国の自動車の普及状況を見ると、

人口1人当たりの自動車保有台数は、アメリカが最も多く、オーストラリア、イタリアが続いている。我が国は、それに次ぐカナダ、フランス、ドイツと同程度となっている（第1表）。

3 自動車保有台数及び自動車走行キロメートル当たり交通事故死者数の状況

我が国と欧米諸国の自動車1万台当たりの交通事故死者数の状況を見ると、アメリカが1.66人と最も多く、我が国はアメリカの半分以下（0.78人）となっている。また、自動車走行1億キロメートル当たりの交通事故死者数についてみると、アメリカが0.85人と最も多く、日本、フランスの順となっている（第1表）。

第1図 人口10万人当たりの交通事故死者数（2010年）



注 1 IRTAD 資料による。
 2 国名に年数（西暦）の括弧書きがある場合を除き、2010年の数値である。（ただし、「日本（2018）」を除く。）
 3 数値は全て30日以内死者（事故発生から30日以内に亡くなった人）のデータを基に算出されている。
 4 日本（2018年）の数値は、政府目標である2018年（平成30年）の24時間死者数の目標2,500人に、2010年の日本の24時間死者数と30日以内死者数の比率を乗じることで2018年における30日以内死者数を2,953人と推定し、この推定死者数と125,236千人（2018年における日本の予測人口）を用いて算出した（125,236千人は国立社会保障・人口問題研究所「総人口年齢3区分別人口及び年齢構造係数：出生中位（死亡中位）推計」（平成24年1月推計）より引用）。

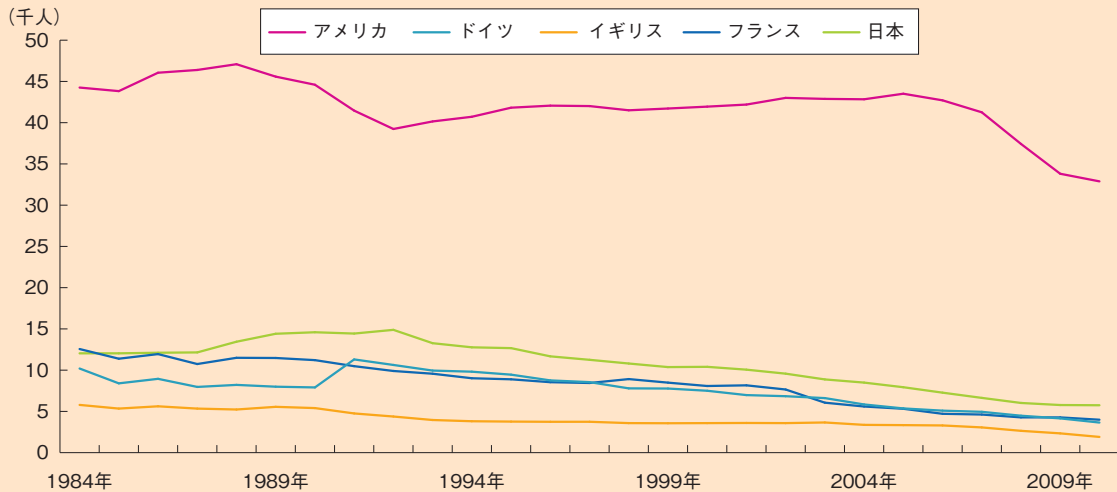
第1表 欧米諸国の交通事故の状況

事 項	アメリカ	カナダ	オーストラリア	ドイツ	イギリス
調査年	2010	2010	2010	2010	2010
人身事故件数	1,546,000	(09) 123,192	…	288,297	160,080
死者数	32,885	(09) 2,207	1,352	3,648	1,905
負傷者数	(09) 2,217,000	(09) 172,883	…	371,170	215,700
状態別 死者数					
歩行中	4,280	(09) 307	170	476	415
自転車	618	(09) 41	38	381	111
二輪車	4,502	(09) 195	224	709	413
乗用車	12,435	(09) 1,048	919	1,840	864
その他	11,050	(09) 616	0	242	102
不 明	0	(09) 0	1	0	0
年齢層別 死者数					
～14	1,210	(09) 55	56	104	42
15～24	6,984	(09) 521	332	791	455
25～64	19,161	(09) 1,221	746	1,842	1,031
65～	5,484	(09) 389	217	910	377
不 明	…	(09) …	1	1	0
年齢層別 負傷者数					
～14	(08) 193,053	(08) 10,306	…	28,525	(09) 19,180
15～24	(08) 630,949	(08) 43,491	…	91,678	(09) 62,394
25～64	(08) 1,338,704	(08) 102,499	…	210,807	(09) 127,018
65～	(08) 182,886	(08) 14,075	…	39,592	(09) 17,059
不 明	(08) 146	(08) 6,126	…	568	(09) 3,925
人口 (千人)	308,745	34,109	22,342	81,802	(09) 61,789
自動車保有台数 (4輪車・千台)	(07) 248,609	(09) 20,771	15,378	45,499	(09) 33,161
道路延長 (km)	(07) 6,489,078	(07) 1,408,800	(09) 817,089	(09) 688,243	(09) 419,881
自動車走行キロ (億キロ)	(07) 48,531	(09) 3,351	2,195	(09) 6,792	(97) 4,607
運転免許保有者数 (千人)	(09) 209,618	(09) 23,197	(04) 16,023	(04) 53,129	36,933
人口1人当たり自動車保有台数 (台)	(07) 0.83	(09) 0.62	0.69	0.56	(09) 0.54
人口千人当たり道路延長 (km)	(07) 21.54	(07) 42.72	(09) 36.80	(09) 8.39	(09) 6.80
人口10万人当たり死者数 (人)	10.65	(09) 6.55	6.05	4.46	(09) 3.78
自動車1万台当たり死者数 (人)	(07) 1.66	(09) 1.06	0.88	0.80	(09) 0.70
自動車走行1億キロメートル当たり死者数 (人)	(07) 0.85	(09) 0.65	0.61	0.52	(07) 0.57

事 項	フランス	スウェーデン	イタリア	オランダ	日本
調査年	2010	2010	2010	2010	2010
人身事故件数	67,288	16,255	211,404	10,778	725,773
死者数	3,992	266	4,090	537	5,745
負傷者数	84,461	23,307	302,735	12,457	895,326
状態別 死者数					
歩行中	485	31	614	63	1,987
自転車	147	21	263	119	929
二輪車	952	45	1,146	104	1,018
乗用車	2,117	151	1,817	219	1,176
その他	291	18	250	27	635
不 明	0	0	0	5	0
年齢層別 死者数					
～14	130	10	69	16	123
15～24	992	55	664	110	566
25～64	2,105	137	2,205	257	2,084
65～	764	64	1,059	154	2,972
不 明	1	0	93	0	0
年齢層別 負傷者数					
～14	6,418	1,343	(09) 12,241	887	58,137
15～24	24,079	6,369	(09) 68,941	3,709	153,934
25～64	46,840	13,294	(09) 184,914	6,454	561,792
65～	7,102	2,128	(09) 28,035	1,311	121,463
不 明	22	173	(09) 13,127	96	0
人口 (千人)	62,799	9,341	60,340	16,575	128,059
自動車保有台数 (4輪車・千台)	37,590	4,829	(04) 37,911	8,651	73,964
道路延長 (km)	1,027,716	219,862	(92) 305,388	141,124	1,210,251
自動車走行キロ (億キロ)	5,239	819	…	1,262	7,460
運転免許保有者数 (千人)	…	6,021	…	11,360	81,010
人口1人当たり自動車保有台数 (台)	0.60	0.52	(04) 0.65	0.52	0.58
人口千人当たり道路延長 (km)	16.37	23.54	(92) 5.38	8.51	9.45
人口10万人当たり死者数 (人)	6.36	2.85	6.78	3.24	4.49
自動車1万台当たり死者数 (人)	1.06	0.55	(04) 1.61	0.62	0.78
自動車走行1億キロメートル当たり死者数 (人)	0.71	0.32	—	0.43	(09) 0.77

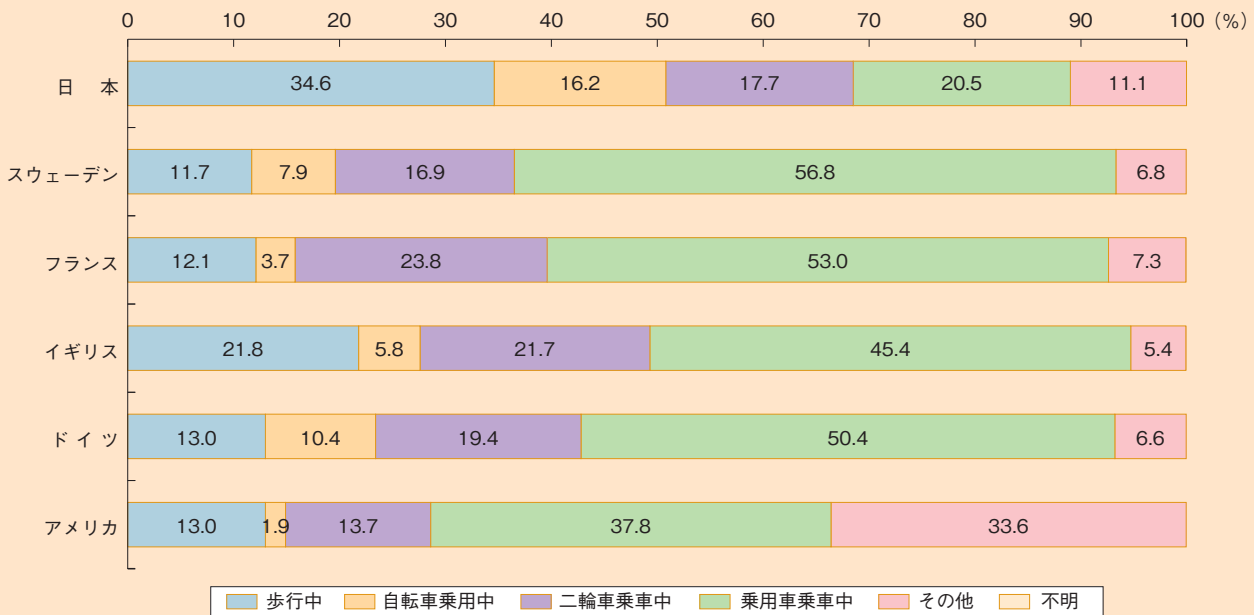
- 注 1 運転免許保有者数は外務省資料により、その他の事項はIRTAD資料による。
 2 () は調査年次を表し、「…」はデータの無いものを表す。
 3 状態別死者数中「乗用車」にはバス、ミニバスを含み、「その他」には貨物、特殊、路面電車、軽車両を含む。
 4 死者数の定義は事故発生後30日以内の死者である。
 5 カナダの死者数の定義は州により異なる。

第2図 主な欧米諸国の交通事故死者数の推移



- 注 1 IRTAD資料による。
 2 ドイツの値は、1990年までは旧西ドイツ地域に限る。
 3 死者数の定義は事故発生後30日以内の死者である。
 ただし、フランスの2004年以前の数値及び日本の1992年以前の数値は、30日死者換算数。

第3図 主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率（2010年）



- 注 1 IRTAD 資料による。
 2 数値は状態別構成率（%）、構成率は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがある。
 3 死者数の定義は事故発生後30日以内の死者である。

④状態別交通事故死者数の状況

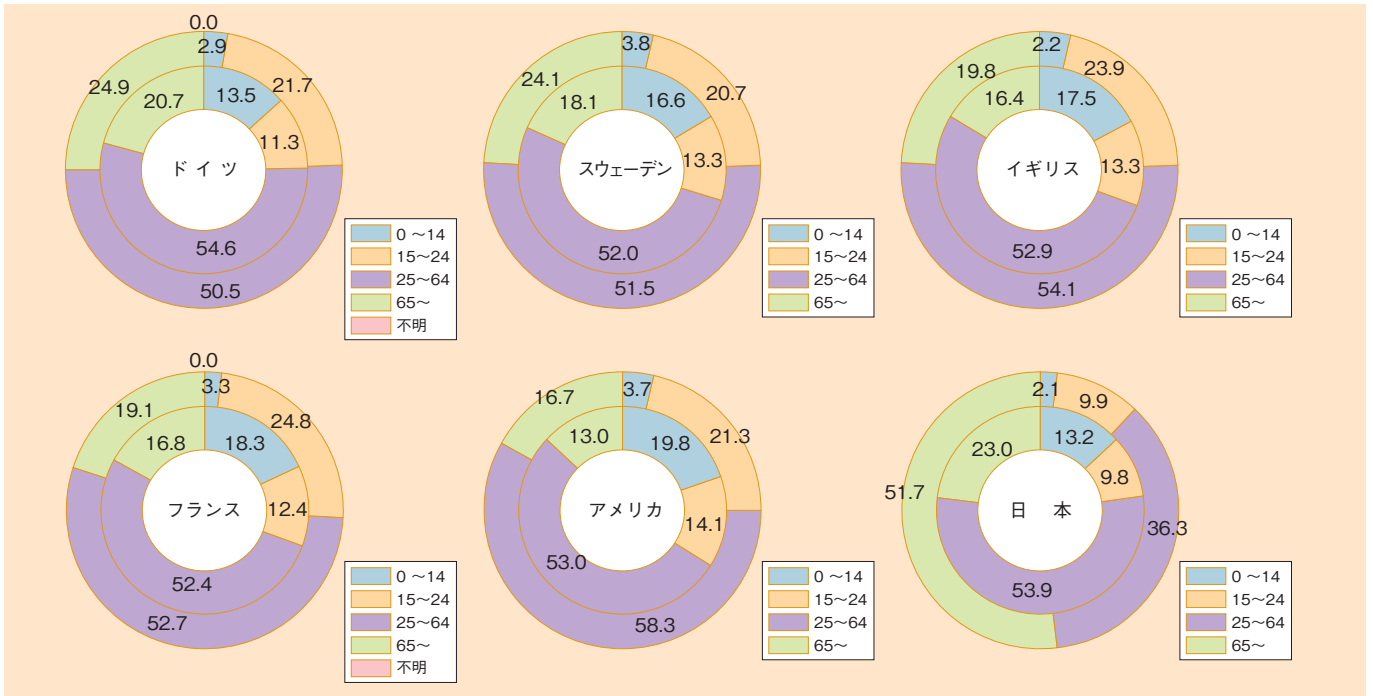
我が国と主な欧米諸国（アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス及びスウェーデン）の状態別交通事故死者数の状況を見ると、我が国は乗用車乗車中の死者数の構成率が低く、歩行中及び自転車乗用中の死者数の構成率が高い。イギリスは、歩行中死者数の構成率が我が国に次いで高い。一方、スウェーデン、フランス及びドイツは、乗用車乗車中の死者数

の構成率が高い。また、アメリカは、乗用車乗車中とその他で、死者数の7割程度を占めている（第3図）。

⑤年齢層別交通事故死者数の状況

我が国と主な欧米諸国（アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス及びスウェーデン）の年齢層別交通事故死者数の状況を見ると、主な欧米諸国で

第4図 主な欧米諸国の年齢層別交通事故死者数の構成率と人口構成率（2010年）



- 注 1 IRTAD 資料による。
 2 数値は構成率 (%), 構成率は四捨五入しているため, 内訳の合計が 100%にならないことがある。
 3 死者数の定義は事故発生後 30 日以内の死者である。
 4 内円は人口構成率, 外円は年齢層別交通事故死者数の構成率。
 5 イギリスの人口構成率は 2009 年の数値。

は, 15~24歳の年齢層の構成率が我が国よりも高く, 人口構成率を7~12ポイント上回っている。我

が国は, 65歳以上の年齢層の構成率が際立って高い(第4図)。